

研究課題「四肢外傷に関する実態調査研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2017年1月1日以降に当院にて手術・加療し通院歴のある四肢外傷（開放骨折など）の方。

2. 研究目的・方法・研究期間

名古屋大学医学部附属病院手の外科においては四肢外傷の診療・研究を行っております。このたび、「四肢外傷に関する実態調査研究」という調査研究を施行することになりました。目的は四肢外傷の発生頻度や原因、自然経過および各種治療法の成績を評価して、今後の治療に生かしていくことです。研究期間は実施承認日より2025年3月31日までです。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢・性別・既往歴、病歴（手術歴）、身体所見、理学所見（関節可動域等）、放射線画像所見（単純X線像・CT・MRI）等

4. 外部への情報の提供

名古屋大学手の外科教室がデータセンターとなり、情報は研究対象者のデータから氏名等の個人情報削り、代わりに新しく符号をつけて匿名化を病院ごとに行い、この符号（番号）を結びつける対応表は外部に漏れないように厳重に保管します。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。なお、名古屋大学手の外科学医局に集められた匿名化データも、パソコンにはパスワードロックをかけ、盗難、持ち出し、損壊を防止するための対策を講じます。

5. 研究組織

研究責任者

名古屋大学大学院医学系研究科四肢外傷学寄附講座・寄附講座准教授・建部将広

研究分担者

名古屋大学予防早期医療創成センター 教授 平田仁

名古屋大学大学院医学系研究科個別化医療技術開発講座 研究科特任講師 山本美知郎

名古屋大学大学院医学系研究科個別化医療技術開発講座 研究科特任講師 栗本秀

名古屋大学医学部附属病院手の外科 講師 岩月克之

名古屋大学大学院医学系研究科四肢外傷学寄附講座・寄附講座助教 徳武克浩

名古屋大学医学部附属病院手の外科 助教 米田英正

名古屋大学医学部附属病院救急科 助教 村山敦彦
名古屋大学医学部附属病院救急科 助教 藤田明子

共同研究者 (別紙)

愛知県下手指切断対応医療機関及び名古屋大学整形外科名整会所属医療機関

6. 利益相反

研究責任者及び研究分担者1名は寄附講座に所属しており、(スポンサー:愛知県厚生連・医療法人済衆館)利益相反状態にありますが、本研究は観察研究であり、当該寄附講座のスポンサーが本研究そのものについて計画、実施、解析等に介入せず、研究結果に影響を与えることは想定しておりません。なお、寄附講座所属以外の利益相反状態に無い研究者も含め実行されます。また、前述した団体は開放骨折の治療機器等に関して直接関与しておりません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科四肢外傷学寄附講座

建部将広

住所:名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話:052-744-2957

FAX:052-744-2964

研究責任者：同上